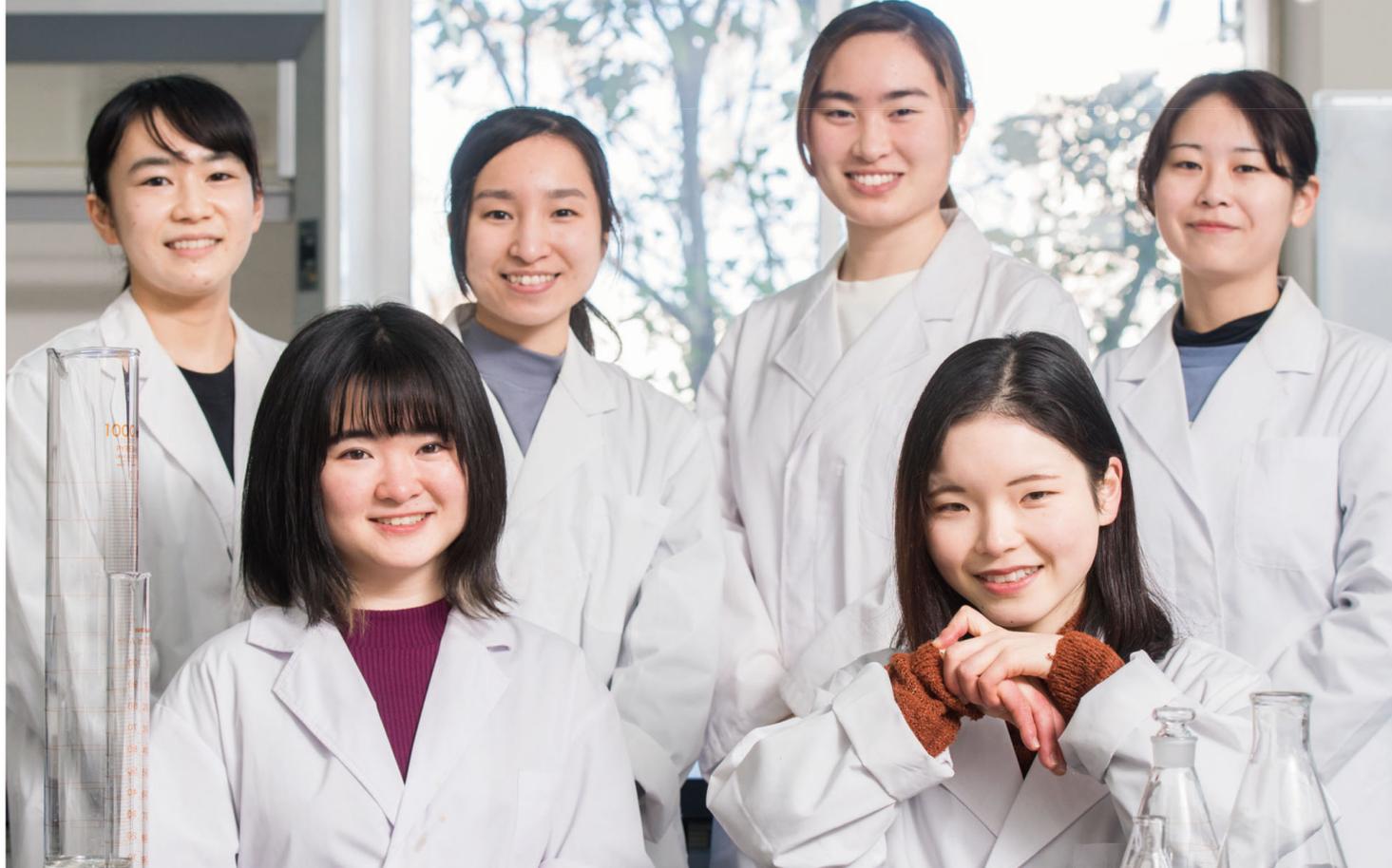


パッションフルーツを用いた “緑のカーテン”をもっと社会へ。



I am a leader

女子学生同士の交流促進も目指した活動。

パッションフルーツパーティ(P.F.P)は、亜熱帯植物のパッションフルーツを用いて、主に緑のカーテンの普及啓発活動を行っています。緑のカーテンとは、窓の外や壁面に張ったネットなどにツル系植物を這わせて日光を遮り、室内温度を下げようという省エネルギー対策の取り組みです。あわせて、学内の女子学生同士の交流を図ることも目的としています。

普段は、パッションフルーツの栽培(苗木育生・受粉作業等)を行っており、鉢に植えた木を学内に設置しています。2021年はパッションフルーツの苗木を小さなポットに入れ、「パッションフルーツの育て方～緑のカーテンをつくりませんか?～」という資料を付けて造大祭(大学祭)で販売したほか、オレンジやレモンの皮からオイルを抽出するなどして、他の植物を暮らしに生かす研究にも取り組みました。2022年は、長崎市役所・日見支所のパッションフルーツの植え替え、新型コロナの感染状況が落ち着けば造大祭でのパッションフルーツ・ジュースの販売も計画しています。

この活動は、将来の仕事に直接繋がるわけではありませんが、様々な植物の知識が増え、仕事にも役立つ主体性も身に付きました。できれば卒業後も、周囲の人に勧めるなどして緑のカーテン普及活動を続けていければと思っています。



生命環境工学コース4年
荒木 愛美子
純心女子高等学校(長崎県)出身

環境問題に興味を持っていたことから、長崎の理系大学で環境分野を学べる本学に進学。前リーダーから誘われたことをきっかけに、友達づくりをはじめ、上級生や他学部学生と交流・繋がりを広げるためにこのプロジェクトに参加した。



上)パッションフルーツは、8号館4階のミーティングルームで栽培。挿し木して苗を作るが、2021年は造大祭で、ポットに入れて一つ350円で販売した。

下)夏の陽光を浴びて育ったパッションフルーツは、南国の植物らしい花を咲かせた後、手のひらに乗るサイズの実を結ぶ。熟した果実からは、黄色く爽やかな味の果汁が取れる。